

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【公開番号】特開2008-18937(P2008-18937A)

【公開日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【年通号数】公開・登録公報2008-004

【出願番号】特願2007-184060(P2007-184060)

【国際特許分類】

B 6 0 C 23/04 (2006.01)

B 6 0 C 23/02 (2006.01)

G 0 1 L 17/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 C 23/04 N

B 6 0 C 23/02 G

B 6 0 C 23/04 H

G 0 1 L 17/00 3 0 1 Q

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月12日(2010.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

それぞれのタイヤの空気圧を示す信号を車の制御装置に出力するタイヤ空気圧監視装置を有し、前記車の制御装置はユーザーI/Oを有している、車の各タイヤの空気圧を監視する方法であって、

 いずれか1つのタイヤのタイヤ空気圧エラーを検出することと、

 前記のいずれか1つのタイヤの前記タイヤ空気圧エラーを示す第1の感覚認知信号をユーザーに提供すること、

 次いで、予想されるタイヤ空気入れ作業を示すユーザー入力を検出することと、

 次いで、前記のいずれか1つのタイヤの空気圧が所定のタイヤ空気圧にほぼ等しくなったことに応答して第2の感覚認知信号をユーザーに提供すること、

 を有する、車の各タイヤの空気圧を監視する方法。

【請求項2】

前記第1の感覚認知信号が視覚表示を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ユーザー入力が視覚表示上にある入力ボタンを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記第2の感覚認知信号が視覚表示と聴覚信号の少なくとも一方を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記ユーザー入力を検出した後、

第1のタイヤの空気圧の変化を検出することと、

前記第1のタイヤが前記のいずれか1つのタイヤとほぼ同じかどうかを判定することと、

前記第1のタイヤが前記のいずれか1つのイヤとは異なっていることに応答して第3の

感覚認知信号をユーザーに提供すること、
をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第3の感覚認知信号が視覚表示と聴覚信号の少なくとも一方を含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

それぞれのタイヤの空気圧を示す信号を車の制御装置に供給するタイヤ空気圧監視装置を有し、前記車の制御装置はユーザー I / O を有している、車の各タイヤの空気圧を監視する方法であって、

前記車の制御装置によって前記ユーザー I / O を作動させ、空気圧エラーを有する少なくとも 1 つのタイヤを特定するタイヤ空気圧エラー信号を出力することと、

次いで、前記車の制御装置によって前記ユーザー I / O を監視し、予想されるタイヤ空気入れ作業を示すユーザー入力を検出することと、

次いで、前記車の制御装置によって前記ユーザー I / O を作動させ、前記の少なくとも 1 つのタイヤの空気圧が所定のタイヤ空気圧にほぼ等しくなったことに応答してタイヤ充満信号を供給すること、

を有する、車の各タイヤの空気圧を監視する方法。

【請求項 8】

前記タイヤ空気圧エラー信号が視覚表示を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記ユーザー入力が視覚表示上にある入力ボタンを含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

前記タイヤ充満信号が視覚表示と聴覚信号の少なくとも一方を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 11】

前記車の制御装置によって第1のタイヤのタイヤ空気圧の変化を求めることと、

前記車の制御装置によって前記第1のタイヤが前記の少なくとも 1 つのタイヤと同じかどうかを判定することと、

前記車の制御装置によって前記ユーザー I / O を作動させ、前記第1のタイヤが前記の少なくとも 1 つのタイヤとは異なっていることに応答して誤タイヤ信号を出力すること、
をさらに有する、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 12】

前記誤タイヤ信号が視覚表示と聴覚信号の少なくとも一方を含む、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

車のタイヤの空気圧を監視する方法であって、

少なくとも 1 つのタイヤのタイヤ空気圧エラーの存在を求めることと、

求められた前記タイヤ空気圧エラーに応答して前記の少なくとも 1 つのタイヤを特定するタイヤ空気圧エラー信号を発生することと、

次いで、タイヤ空気入れ作業を示すユーザー入力を検出することと、

次いで、前記の少なくとも 1 つのタイヤの空気圧がタイヤ充満空気圧にほぼ等しくなったことに応答してタイヤ充満信号を発生すること、

を有する、車の各タイヤの空気圧を監視する方法。

【請求項 14】

前記タイヤ空気圧エラーが視覚表示によって示される、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記ユーザー入力が視覚表示上にある入力ボタンを含む、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 16】

前記タイヤ充満信号が視覚表示または聴覚信号の少なくとも一方を含む、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 17】

第1のタイヤのタイヤ空気圧の変化をも求めることと、

前記第1のタイヤが前記の少なくとも1つのタイヤと同一であるかどうかを判定することと、

前記第1のタイヤが前記の少なくとも1つのタイヤとは異なっていることに応答して誤タイヤ信号を発生すること、

をさらに有する、請求項13に記載の方法。

【請求項 18】

前記誤タイヤ信号が視覚表示と聴覚信号の一方である、請求項17に記載の方法。